

学力向上に効果のある取組事例

日田市立津江小学校

②思考力、判断力、表現力等の育成

取組の具体①

シラバスの作成と活用

子どもたちが見通しをもって学習できるようにするためのシラバス(学習スケジュール)に、以下の工夫を加えた。

- 「思考・判断・表現」の重点化
算数科すべての単元で「思考・判断・表現」を目標にした授業を3割以上行うようシラバスに位置付けた。
- 付けたい力の共有
「学習のめあて」を「説明しよう」「練習しよう」などと書き分けて表記することで、本時に育成をめざす資質・能力を子どもと共有できるようにした。
- 視点をもった振り返り
「聞きジョーズ」「話しジョーズ」「書きジョーズ」の3観点で学習の振り返りを行った。振り返りの内容も「わかったこと」や「次時に生かせること」、「新たな課題」等視点をもたせた。

4. 小数をかける計算を考えよう (13時間)

時	学習のめあて	月日	話	聞	書
1	その式でよいと考えたわけを 30×2.3 説明しよう	5/	○	○	○
2	整数×小数の計算のしかたを 30×2.3 考えよう	5/31	○	○	○
3	$= 30 \times 23 \div 10$ (23回に10を割る) $= 30 \div 10 \times 23$ (0.1mに23回をかける)		○	○	○
4	その式でよいと考えたわけを $30 \times 0.6 + 30 \times 0.06$ 説明しよう $= 30 \times 0.6 + 10 \times$	6/2	○	○	○
5	整数×小数の計算のしかたを 0.1の位を10倍して、整数にする 小数点を左に1けたずらす考えよう	6/3	○	○	○
6	小数×小数の計算のしかたを 100分の位まで100倍して、整数にする 2けたずらす考えよう	6/4	○	○	○
7	小数第2位まである小数×小数の 計算の仕方を考えよう。6の方法が 使えるよ	6/7	○	○	○
8	これまで学習したことを生かして 練習をしよう	6/9	○	○	○

取組の具体②

一人一発表

「主体的コミュニケーション力」の育成をめざす発表集会の取組で、以下の点を工夫した。継続的に行った。

- 一人一人をやる気にさせる場の設定
全学年の子どもたちが個人テーマをもち、年間を通じて全校の場で発表できるようにした。
- 教科横断的な指導
生活科や総合的な学習の時間などで調べたことを、国語科の「話すこと聞くこと」で学んだことを生かして発表した。
提示する資料は写真やグラフなどの非連続型テキストを積極的に用いるようにした。
- 学年に応じた「話す・聞く」能力の設定
話し手と聞き手それぞれに学年に応じためあてを設定し、教師による評価と子どもたちの相互評価を行った。



発表集会

話すめあて

○つたえたいことを
わかりやすく
はなそう。

発表集会

聞くめあて

○ともだちの
つたえたいことを
しっかりきこう。

話すめあて

1. 2年-このめあてはさややかに
きをつけて

2. 4年-話し方(言葉の抑揚・強弱・
間の取り方)を工夫して

3. 4年-話の構成を工夫し
資料を活用して

聞くめあて

1. 2年-わかったこと・すごいこと

2. 4年-話の中心きとらえて
質問・感想を持つ

3. 4年-自分の考えや体験を
比べながら感想を持つ。